



希

WITH コロナの中でリスタートの3学期に！

学校長 平田 高之

新年明けましておめでとうございます。(喪中の方はすみません…)

新型コロナウイルス感染症対策で、年末年始も不要不急の外出は避けるようにということでしたが、よいお正月をお過ごしになられましたでしょうか。私たちの社会生活を動かすために、業種によっては逆にお忙しく、特に、医療従事者の中で新型コロナウイルス感染症対応をされている方々にとっては、お休みもなかったのではないのでしょうか。本当にお疲れさまでした。そして、ありがとうございます。

さて、今日から学校が再開し3学期がスタートしますが、年末年始も生徒指導上の問題や事故等は聞いておりませんので、ほっと胸をなでおろしているところです。新たな年での新たな学期のスタートですから、今までなかなか登校できなかった生徒も登校でき、より多くの生徒で1年のまとめの学期を迎えることができるよう努めていきたいと考えております。

本年度中にもワクチン接種が一部では始まるようですが、依然として新型コロナウイルス感染症対応は続き、それに伴う経済状況の悪化により、これから待ち受ける日本の社会や人類の未来は決して楽観できるものではありません。東京オリンピック・パラリンピックの開催も危ぶまれています。しかしながら、生徒たちは、文化発表会で自分たちが考えたスローガン「**希 今ある希望を歌に込めて**」にあったように、新型コロナウイルス感染症対応で制限のある中でも、非常に前向きに取り組み素晴らしい成果を発揮してくれました。

「晴れの日は枝が伸びる 雨の日は根が伸びる」という表現を見たことがありますが、生徒たちにとっては、新型コロナウイルス感染症対応の中で、中学校生活でも雨の日が多かったかもしれませんが、その中でできることに一生懸命に取り組み、根を伸ばし、土台を固めて、普段以上に大きく、たくましく成長してくれたのではないかと感じています。

また、私たち大人こそが、厳しい状況の中でも、夢や希望を持ち、今直面している困難に立ち向かい、夢に向かって頑張る姿を、子どもたちに見せることが大切ではないでしょうか。そして、大人になることへの夢や希望を持ち、そして困難に立ち向かっていける心を育てることができると考えています。

本年もどうぞよろしく申し上げます m(_)_m

じきさん通信(大蔵中編)

昨年2月14日に本校で行った入学説明会に親子で来られた際に体調を崩され、残念ながらそのまま旅立った小川 直心さんのお母様から、学校や各学級用にとカレンダーを頂きました。書家の福詩家たろうさんによるもので、それぞれの月に言葉が書かれています。ちたなみに、1月は「転んだら立つ 泣いたら笑う 本当は単純。」というものでした。各学級に掲示させていただきます。ありがとうございました。

また、カレンダーとともに、お母様のメッセージが入っていましたので紹介させていただきます。

To You we love the most

Thank you for your deep love, care, and the big support throughout Jiki-san's life.

We wish you the best of all and everlasting happiness with a precious smile on your face.

お母様にお礼の連絡をしたところ、神戸新聞「眠りの森のじきしん」を単行本化した「**じきしん いのちの物語**」が神戸新聞総合出版センターから出版されたとお聞きしました。皆さんの中にも連載記事を読まれていた方も多いかと思いますが、早速、図書館及び各学級用に発注し、年末に学校に届きました。学級文庫として各学級に置きますので、生徒それぞれの心にあるじきさんを思い出しながら読んでほしいと思っています。



頂いたカレンダー



出版された本



お母様のメッセージ

今年の漢字は「希」にするぞ！

昨年末の「学校だより第90号」で、生徒たちの「2020年 今年の漢字」を紹介し、私は「**応**」だったと書きました。年末の風物詩として、その年を振り返って漢字一文字を投票で決めていますが、今年はこのような年になってほしいという願いを込めて、「2021年 今年の漢字」を考えてみました。

生徒たちが文化発表会のスローガンに考えてくれた「**希**」にしました。今年も、新型コロナウイルス感染症に対応しながら、制限のある中での教育活動が続きますが、そのような中でも、私たちができることを一生懸命取り組み、生徒たちの希望が叶うよう、やれることは何でもやっという決意を、この漢字に込めました。

生徒や保護者の皆様はどの漢字にされますか？